

## ドローンによる長崎県五島市の離島間無人物流の実証を行います

### ～五島市ドローン i-Land プロジェクト離島間無人物流実証事業に ANA ホールディングスを採択～



ANA ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:片野坂 真哉、以下「ANAHD」と五島市(市長:野口 市太郎)は、株式会社自律制御システム研究所(本社:千葉県千葉市、代表取締役社長:太田 裕朗、以下「ACSL」)、株式会社 NTT ドコモ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:吉澤 和弘、以下「ドコモ」)、株式会社プロダクションナップ(本社:長崎県長崎市、代表取締役社長:仁田 豊文、以下「NAP」)と協力し、長崎県五島市における有人島間にドローンを用いた物流網を構築し、二次離島地域住民の生活利便性を向上することを目指したドローンによる物流の実証を行います。今後、五島市無人物流協議会(仮称)を設立し、地域住民、域内の小売業者、医療事業者等と連携体制を構築し、今年度内に合計 20 日間の実証実験を行います。

なお、五島市は、内閣府地方創生推進交付金事業 令和元年度ドローン i-Land プロジェクト 離島間無人物流実証事業の委託事業者として、ANAHD を採択しました。

#### ◆実証実験概要

- (1) 日時: 第 1 期検証 9 月 25 日(水)～10 月 4 日(金)を予定  
第 2 期検証 2020 年 1 月頃、10 日間を予定

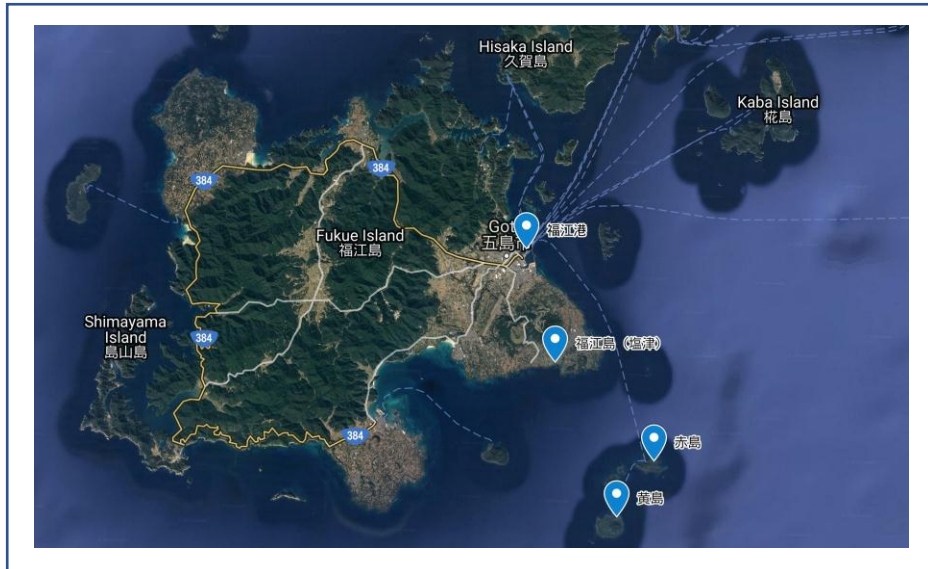
- (2) 飛行区間: 福江島～黄島および赤島

- (3) 運搬物: 生活用品、食品、医薬品等を予定

- (4) 黄島および赤島について

赤島: 福江島の南、約 7km 沖に位置する有人島。福江港からは約 15km、定期船で 30 分程度。商店、水道はなく、福江島から食料等を取り寄せるか福江島に買い物に出る。昭和 30 年には 350 人以上の人が暮らし、伊勢海老等の漁が盛んだった。現在は、美しい自然に囲まれた島で雨水を貯水して 10 世帯 13 人が生活をする。

黄島: 福江島の南、約 8km 沖に位置する。定期船が 1 日に 2 回、福江ー赤島ー黄島と結ぶ。島内には商店が一軒と民宿が 2 軒あり、水道も整備されている。昭和 30 年には約 650 人いた島で現在は、25 世帯 35 人が生活する。釣りの聖地と言われる五島の中でも、釣り客が集う。翼の王国では猫島として紹介された。



◆各社の主な役割

- ANAHD: ドローンの運航管理（本事業の受託事業者）、協議会事務局
- ACSL: 機体の提供および運航サポート
- ドコモ: ドローンの上空飛行に係るLTEネットワークの提供、および docomo sky™(ドコモ スカイ)の運航支援基盤による上空の電波状況を考慮した運航計画の策定支援  
※「docomo sky」は、株式会社 NTTドコモの商標です。
- NAP: 運航サポート
- 五島市: 本事業の発注者。検証対象となる地域及び関係者との調整等

◆本事業について

五島市は11の有人島と52の無人島からなる地方自治体。住民サービスの観点から離島部の利便性の向上を目的とし、この11の有人島間の物流の将来にドローン物流の実運用を目指し、さらには雇用の創出を目指す事業を平成30年度から実施。平成30年度は奈留島ー前島間の物流実証において、人口24人の前島に模擬薬と食料品の輸送を試みました。

令和元年度事業では、五島市無人物流協議会(仮称)を設立し、発注から受け取りまでの仕組みの検討及び検証、ならびに市内でドローン物流オペレーションを担う人材を育成し、将来的な市内離島部でのドローン物流の実用化を目指します。

尚、本事業は内閣府地方創生推進交付金事業ドローン i-Land プロジェクトの一環として実施されます。

以上

お問い合わせ先

- ◆ANAホールディングス株式会社 広報・コーポレートブランド推進部 03-6735-1111
- ◆五島市 地域振興部 商工雇用政策課 雇用・起業促進班 0959-72-7862